

CAREER STORY

特別支援学校栄養教諭

活力は生徒のおいしい笑顔!



遠藤 初恵

宮城県立支援学校女川高等学園

栄養教諭

経歴

矢本町学校給食共同調理場兼赤井小学校
河南町・河北町・矢本町・桃生町の給食施設
兼小中学校・石巻養護学校
東松島市立赤井小学校兼東松島市矢本学校給食センター
大崎市立鹿島台小学校
宮城県教育庁スポーツ健康課
宮城県立支援学校女川高等学園

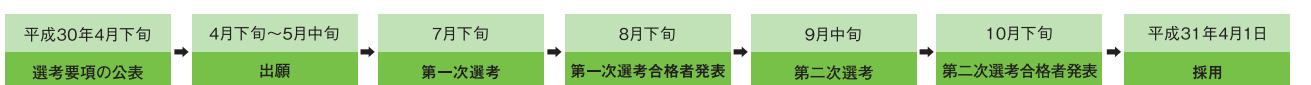


平成30年度選考(平成29年度実施)の結果

	小学校	中学校							中学校・高等学校				
		国語	社会	数学	理科	技術	英語	計	保育	音楽	美術	家庭	計
1次受験者	647	74	162	128	70	14	107	555	314	46	45	23	428
2次受験者	377	38	32	44	36	7	39	196	60	20	14	12	106
名簿登載者	176	20	16	17	17	1	12	83	21	11	5	5	42

	高等学校											養護教諭	栄養教諭A	栄養教諭B	合計	
	国語	公民	地歴	数学	理科	農業	工業	商業	情報	英語	福祉					
1次受験者	74	60	83	115	98	15	40	24	30	79	13	631	154	8	24	2,447
2次受験者	36	16	15	22	36	9	26	15	13	25	5	218	39	8	9	953
名簿登載者	16	6	4	5	9	3	7	5	3	11	1	70	21	7	4	403

出願から採用までのスケジュール



問合わせ先 宮城県教育庁教職員課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号 Tel (022)-211-3637 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/>

このパンフレットは、東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科篠原研究室の協力を得て編集しました。

編集スタッフ：高山隼／高橋赳夫／熊谷陸／成田雄輝（篠原研究室HP <http://www.shinolab.com/>）

平成30年度実施

平成31年度



宮城県公立学校
教員募集案内

宮城県教育委員会



宮城で

つなごう

伝えたい情熱を!

宮城県の教員として働いて半年。「先生」になってみてどうですか？

教育長と小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、それぞれの新任教諭4人が教員の魅力について語り合いました。

もっと知りたい!→(<http://www.pref.miagi.jp/soshiki/ky-teacher/>)



宮城県教育委員会教育長
高橋 仁

昭和31年生まれ。東北大卒後、宮城県公立学校教員採用。宮城県迫桜高等学校教頭、宮城県教育庁教職員課課長補佐、宮城県角田高等学校長、宮城県教育庁高校教育課長、教育次長などを経て平成24年4月より宮城県教育委員会教育長。現在2期目。



栗原市立志波姫小学校
教諭 村上 紗香



大崎市立古川南中学校
教諭 西岡 慧



宮城県貞山高等学校
教諭 鈴木 文緒



宮城県立角田支援学校
教諭 鈴木 遼

－実際に働いて感じる教員の魅力

教育長：着任して半年。特に印象深い出来をお話しください。

村 上：市内の学校が集まって音楽祭があり、技術面の指導で子どもたちにどうやって音楽の楽しさを伝えているかなどとでも悩みました。本番で私自身とても緊張ましたが、ステージを降りた後の子どもたちの満足した表情や自信に満ちた表情を見た時に、達成感とやりがいを感じました。

教育長：先生と子どもたちの気持ちと気持ちがうまく触れ合って、努力が実になり強く印象に残ったのでしょうか。

西 岡：担任するクラスが、文化祭の中で行う合唱コンクールで、学年の最優秀賞を取れたことです。子どもたちの顔が清々しく、笑顔に満ちていたので、満足しました。

教育長：生徒たちが喜んでいる顔を見ることで、幸福な気持ちになりますね。今後さらにクラスがまとまるでしょうね。

鈴木(文)：顧問をしているバドミントン部がこの夏全国大会に出場することができたことです。まさか全国大会に引率できると思っていなかったので、とても貴重な経験を生徒に与えてもらいました。

教育長：実は、子どもたちがパフォーマンスするステージを作る作業がとても大事だと思います。先生方がどのようなステージを準備してあげができるかが重要ですね。

－実際に働いて思う次へのチャレンジ

教育長：半年「先生」として働いてみて、今後、チャレンジをしてみたいことをお話しください。

鈴木(文)：あまり生徒主体の授業ができていなくて、答えを導いている授業が多いと感じています。生徒は結構活発なので、こちらの工夫次第で、生徒同士で話し合いができるような授業を構築していくけると思うのでチャレンジしたいです。

教育長：双方向の国語の授業というものを是非実践して、先生の授業を受けた子どもたちが社会に出て、聞き上手になるように頑張ってください。

鈴木(遼)：オリジナルのアプリを作って、子どもたちに教材として与えてみたいと考えています。特別支援学校の子どもたちの個人の実態に合ったアプリを自分で作って勉強させてあげたいと考えています。

教育長：素晴らしいチャレンジですね。是非やっていただきたい。宮城県では、MIYAGI Styleという、一斉授業の中でタブレットを活用した取り組みをはじめています。特別支援学校での教材づくりも含めた情報教育についても力を入れて進めていこうとしているので、教育企画室にどんどん気軽に相談してください。

－宮城県の教員志望者へのメッセージ(エール)

教育長：4人の先生方から宮城の教員になって欲しいということでおこれから受験する皆さんにメッセージをそれぞれお願ひします。



村 上：採用試験を受験するに当たってたくさんの不安があると思います。そこで考えたことや自分が行ってきたことの時間は決して無駄にはならないと思います。

西 岡：教員は社会の変化で求められる役割も変化すると思いますが、生徒の成長を間近で関わることができるという喜びは、この先も変わることはなく、大変やりがいのある仕事だと思いますので、これから私たちと一緒に生徒のために頑張っていきましょう。

鈴木(文)：今のうちから、教員になってからできることだけたくさん想像して欲しいと思います。自分の想像を超えることがたくさん起こりますから。

鈴木(遼)：是非、教員を志すに当たって情熱を大切にしてもらいたいです。情熱は教育の基礎になるものであると思います。

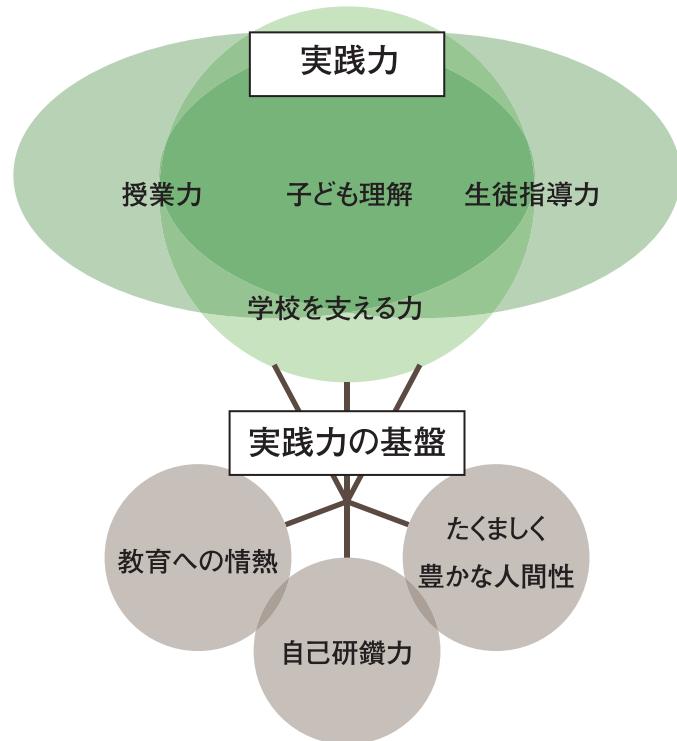
教育長：今日は、いろいろとお話を聞かせていただいてどうもありがとうございました。これから宮城の教育は、皆さんのような素晴らしいチャレンジ精神をもち、子どもたちへの愛情あふれる先生方にかかると思っています。

宮城の教育は東日本大震災を乗り越えて着実に前進しています。そういった中でみなさんには、これからも宮城の子どもたちを大きく成長させようという情熱と志、高い倫理観を持って挑戦し続けてもらうことを期待しています。

今日は本当にありがとうございました。



みやぎの教員に求められる資質能力

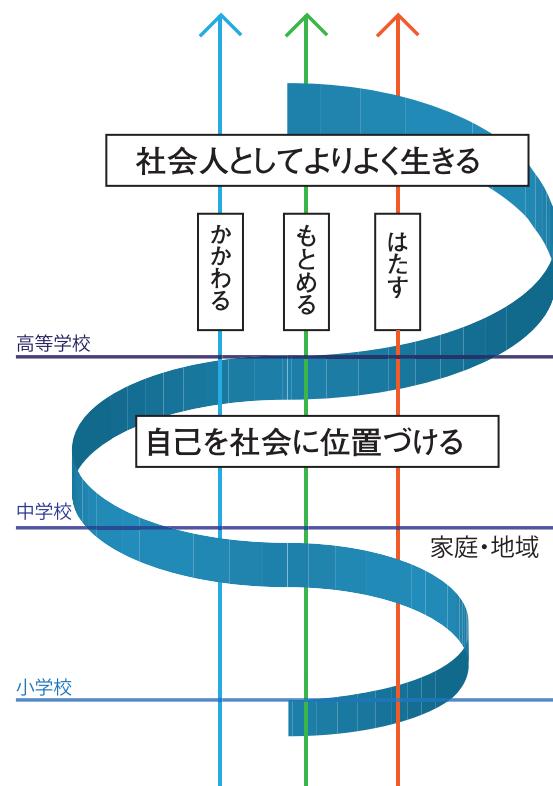


みやぎの教員には、教員個人の持つ教育への情熱や自己研鑽力、たくましく豊かな人間性を基盤として、職場での各種研修によって、授業力や子ども理解、生徒指導力などの実践力をより確かなものにすることが期待されています。

もっと知りたい!→
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ky-teacher/shishitsu.html>

みやぎの教員として、大地にどっしりと根ざし、大空に向かってそびえ立つ櫻(教員)は、しっかりとしっかりとした根や太い幹に支えられて(実践力の基盤となる意欲、人間性等)、大きな枝を伸ばしたくさんの葉を茂らせる(学校の教育力を構成する実践力)大樹へと成長することをイメージしています。

みやぎの志教育



みやぎの教員として小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく志教育に取り組んでいます。

もっと知りたい!→
<http://www.pref.miyagi.jp/site/gikyou-kkz/>



みやぎの特別支援教育・「MIYAGI Style」



みやぎの特別支援教育 「生徒とともに『限りなき前進』を!」



初貝 貴之
宮城県立気仙沼支援学校
教諭

経歴
気仙沼市立唐桑中学校
気仙沼市立条南中学校
気仙沼市立松岩中学校
宮城県立気仙沼支援学校

●特別支援教育のやりがい
どの生徒にもそれぞれのニーズがあります。そのニーズを把握し、生徒の実態に合わせた教材の選定や開発、支援の方法を工夫するなどの試行錯誤を繰り返しながら実践をしています。そんな毎日ですが、生徒が成功体験を積み重ねていくことで、できることが少しずつ増えていき、諸活動に対して自信をもって自ら取り組むようになっていく姿を見ることができたときが、うれしさとともにやりがいを感じる瞬間です。



●特別支援教育で心に残った仕事
目を合わせてコミュニケーションをとることが難しかった生徒が目を合わせ、にこっと笑ってくれたことです。

●教師を志している方へのメッセージ
多くの人のつながりを大切にしながら「みやぎ」の子どもたちの成長を願い、『限りなき前進』を続けよう!

「MIYAGI Style」 いつまでも学びを楽しみ続ける教師の姿を見て生徒は学ぶ



高橋 梨奈
宮城県蔵王高等学校
教諭

経歴
宮城県蔵王高等学校

●授業でのICT機器の具体的な活用
すべての授業でタブレットPCとプロジェクタを無線で接続し、タブレットPCで自作資料や生徒のノートを撮影し、生徒の意見や考えをスクリーンに投影しています。
ICT機器の活用によって、教材に関連した画像や映像を提示することも容易にできるようになりました。さらに前時の復習も丁寧に行なうことが可能となり、基礎基本の知識定着を確実に図ることができます。



●ICTの活用で生徒の学びの変化について
板書や説明の時間が大幅に削減され、生徒に考えさせたり、発表させたりする時間が増えました。生徒は、他者の意見に触れる機会が増えたことで、自分の考え方の幅を広げることができると感じています。

●教師を志している方へのメッセージ
次の「みやぎ」を担う生徒たちのために、私には何ができるのかを模索する、充実感に満ちあふれた毎日です。

学び続ける教育を支援する研修制度



宮城県総合教育センター



基本研修

教職経験と職能に応じて、教員研修の節目ごとの適切な研修の機会としての教員研修の基盤となる研修

専門研修

基本研修を基盤とし、教科・科目、領域等の指導に必要な専門的知識・技能の向上を図る研修

総合研修

教職に関する専門分野について深く研修し、時代の進展・変化等を研修する派遣研修、先行的研究や今日的教育課題に関する研修等の課題研修等

校内研修

教員一人一人の指導力を高め、学校が直面する様々な課題への対応を図るため、各学校が主体的に取り組む研修

大学院派遣研修

『教師も学びたい』その思い、形にできます



作間 健也

宮城県仙台向山高等学校
教諭

経歴

宮城県古川高等学校
宮城県白石女子高等学校
宮城県仙台向山高等学校
東北大大学院教育学研究科現職派遣

●研修を通して学んだこと

私は英語教員で、ICTを活用したアクティブ・ラーニング型の授業を工夫し、また、キャリア教育の充実にも力を入れてきました。大学院では、それらの教育のあり方や効果の測定についての知識とスキルを身につけるため、教育行政や教育測定、心理統計などを学んでいます。現在は、生徒が「キャリア意識を高めていく過程で身につけていく『挫折からの立ち直り力』」(キャリアレジリエンス)の測定をテーマに研究をしています。



●研修を通して学んだことを学校でどう活かすか

生徒の変容を把握するためのツールの開発や、効果的な活動プログラムの作成に生かしたいと考えています。

●教師を志している方へのメッセージ

教員の学びの支援が充実した宮城県で、みやぎの未来をつくる子どもたちを育てる教師になりませんか。

県外派遣(熊本県)

復興・支援のバトンをつなぐ



柏 晃司

石巻市立石巻小学校
主幹教諭

経歴
雄勝町立桑浜小学校
石巻市立鹿島小学校
石巻市立吉浜小学校
石巻市立門脇小学校
石巻市立石巻小学校
益城町立益城中央小学校



●支援活動を通して感じたこと

熊本、特に地震の被害が大きかった学校では、いまだに大きな不安を抱える子どもたちや、かつての生活を取り戻せていない家庭が多く見られます。その中で、各学校では、心のケアはもちろんのこと、みやぎの実践をよりどころしながら防災教育の推進に取り組んでいるのです。東日本大震災において私たちが様々な支援をしていただいたように、今度はみやぎの防災の取組が被災地の大きな助けとなっていることを強く感じています。

●宮城県に戻ってはじめに取り組みたいこと

熊本の実状を伝えるとともに、その取組を参考に、みやぎの防災をより一層充実させていきたいです。

●教師を志している方へのメッセージ

みやぎの教育の力で、すべての子どもたちをもっと元気に、そして、もっと笑顔にしてほしいと思います。

日本人学校派遣

日本中に、世界中に一期一会の出会い



津田 幸

松島町立松島第一小学校
教諭

経歴
村田町立村田第三小学校
松島町立松島第一小学校
ベルリン日本人国際学校
松島町立松島第一小学校



●活動を通じて感じたこと

一つ目は出会いです。子どもや保護者、派遣教員も「いつか帰国する」のが前提です。出会いと別れを繰り返しながら、日々の授業や学校行事を通じて、成長していく子どもたち、一致団結した派遣教員達との出会いはかけがえのない宝物になりました。二つ目は日本再発見です。日本を離れて初めて、日本の素晴らしさや不便さに気付きました。多様な意見や価値観を自分の目で、耳で、肌でダイレクトに感じることができました。

●宮城県に戻ってはじめに取り組んだこと

ドイツやヨーロッパの生活や文化、考え方を子どもたちに伝えたことです。

●教師を志している方へのメッセージ

「みりょく的な人柄、やる気、ぎやっつきょうこそ笑顔」をもった先生方を子どもたちが待っています!

各地域の教育

北部教育事務所

あなたの力が おおさきを創る!

・地域の特徴

国の史跡名勝の学問所「有備館」があり、「ササニシキ」「ひとめぼれ」「だて正夢」など、ブランド米の発祥の地。温泉とスキー場があり、白銀の世界で思い切り楽しみ、温泉でゆっくり癒やしの時間がもてます。

・事務所における教育活動及び教職員育成について

「志を持ち、未来を創造する子供を育てる学校づくり」を目指し、生きる力を育む教育活動を展開しています。学校訪問を通して、教員一人一人の授業力の向上と「チーム学校」の組織力の向上を目指して日々努力しています。教育相談では、きめ細やかに子供や保護者に対応しています。生涯学習の観点からは、「学校を核とした地域づくり」に向けた協働教育を推進し、地域との連携・協働を図る体制整備を行い、学校を支えています。

・教師を志している方へのメッセージ

自然の恵みを体感し、未来を担うみやぎの子供たちに寄り添い、共に成長する学校をつくりましょう。



気仙沼教育事務所

海より深く山より高い志をぜひ三陸の地で!

・地域の特徴

気仙沼市と南三陸町からなる当管内は、豊かな自然と温かい地域の人々に囲まれながら、抜群の教育環境のもと、子供たちと先生方がしっかりと向き合って、「共に歩み、共に成長する教育」を実践しています。

・事務所における教育活動及び教職員育成について

子供たちへのいねいな教育を実践することが、新しいまちづくりに貢献することになります。当事務所でも、10年後、20年後のまちづくりを見据えた子供たちへの教育と教職員の育成を目指して、アットホームな雰囲気の中にも確かな研修会等を実施しています。そして、教職員としての資質・能力の向上を目指しながら、心かよえるやりがいのある学校づくりをサポートします。子供も教師もしっかり支えます。

・教師を志している方へのメッセージ

情熱あふれるあなたの力で、
「未来のみやぎを支える人づくり・まちづくり」に
貢献していましょう!



仙台教育事務所

一緒につくろう!みやぎDATEっ子の未来

・地域の特徴

鹽竈神社・瑞巖寺等の国宝、七ツ森、松島の島々などの豊かな自然、のどかな田園風景、様々な人が行き交う空の玄関、仙台空港、宮城県の魅力が詰まった地域です。

・事務所における教育活動及び教職員育成について

「爽やかで活力のある教育事務所～チーム仙台教育～」をモットーに、39,000人の小・中学生の豊かな人間性と社会性の育成、2,700人の教職員の確かな指導力と子供に対する深い理解、教育に対する情熱を高めることを目指し、各事業に取り組んでいます。また、校種・地域・年齢・キャリアを超えて、幅広い知見を得るとともに、「ためになる」「おもしろそう」「やってみたい」と実感できる実践的な研修を計画・実践しています。

・教師を志している方へのメッセージ

復興を支え、より良い未来を創造する
「志ある人づくり」をここ「みやぎ」で一緒に実現しませんか。



慶長使節船「サン・ファン・パウティスタ」
宮城県慶長使節船ミュージアムに展示公開中



大河原教育事務所

見上げれば蔵王。子どもと一緒に君も高みへ

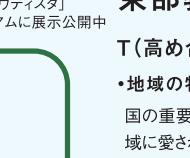
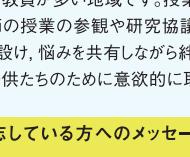
・地域の特徴

蔵王町立宮小学校には、「小野訓導顕彰館」があります。大正11年、白石川で教子を助けるために殉職した小野訓導を偲び建てられ、遺品や当時の新聞などが展示され、今でも命の大切さを伝える様々な活動が展開されています。

・事務所における教育活動及び教職員育成について

大河原教育事務所では、創意と活力に満ちた特色ある教育活動を展開するために、平成29年度は7つの重点を設定し、初任者研修を始めとする37の事業を展開しています。初任者研修では、管内にある蔵王自然の家での宿泊研修や、幼稚園での体験研修、拠点校の指導教員による指導、更に10年経験者とのコラボ研修など、充実した研修体制を整備し、初任者の皆さんのがスキルアップを応援しています。





東部教育事務所登米地域事務所

T(高め合い)O(お互い)M(磨き合う)E(笑顔あふれる)教師になろう!

・地域の特徴

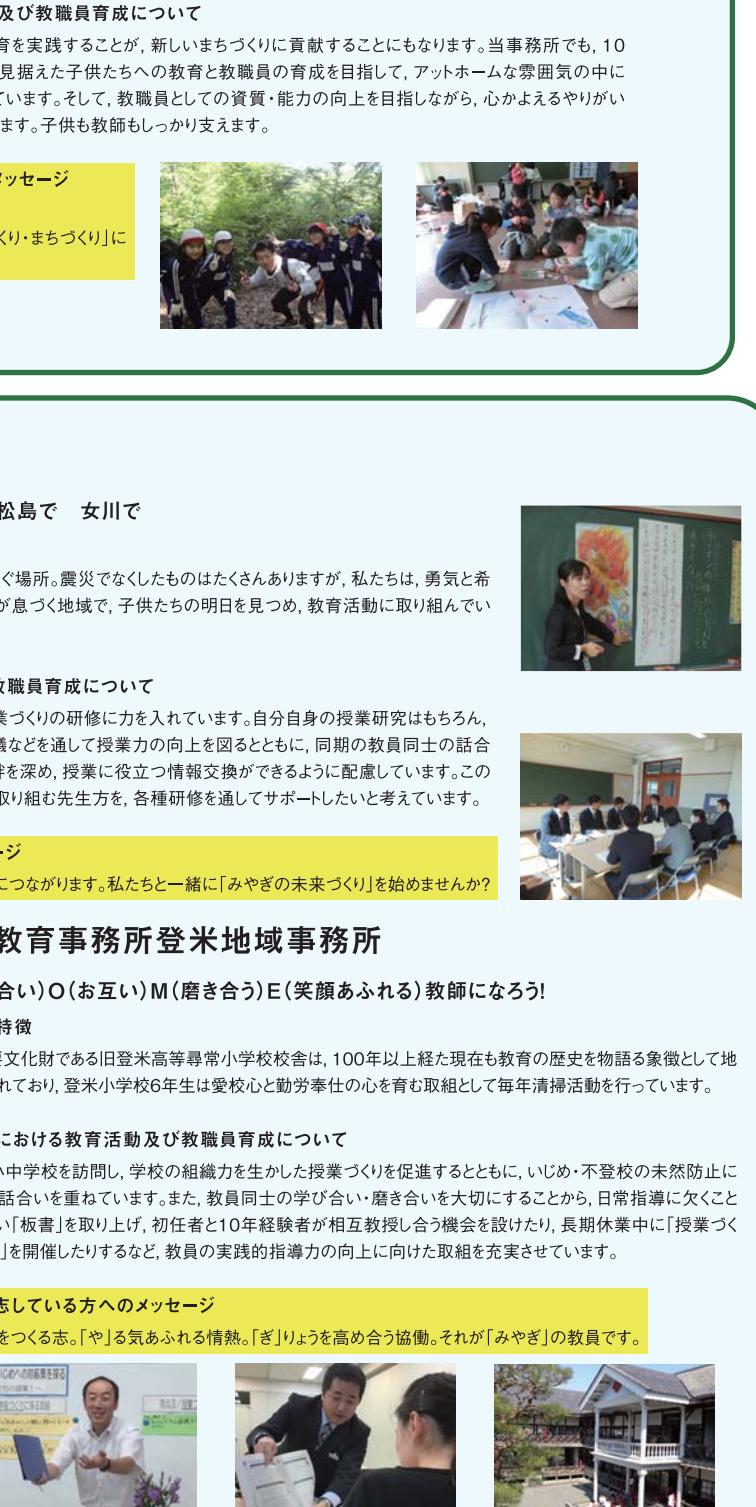
国の重要文化財である旧登米高等尋常小学校校舎は、100年以上経た現在も教育の歴史を物語る象徴として地域に愛されており、登米小学校6年生は愛校心と勤労奉仕の心を育む取組として毎年清掃活動を行っています。

・事務所における教育活動及び教職員育成について

管内全小中学校を訪問し、学校の組織力を生かした授業づくりを促進するとともに、いじめ・不登校の未然防止に結び付く話し合いを重ねています。また、教員同士の学び合い・磨き合いを大切にすることから、日常指導に欠くことができない「板書」を取り上げ、初任者と10年経験者が相互教授し合う機会を設けたり、長期休業中に「授業づくり相談会」を開催したりするなど、教員の実践的指導力の向上に向けた取組を充実させています。

・教師を志している方へのメッセージ

「み」らいをつくる志。「や」る気あふれる情熱。「ぎ」りょうを高め合う協働。それが「みやぎ」の教員です。





8

9

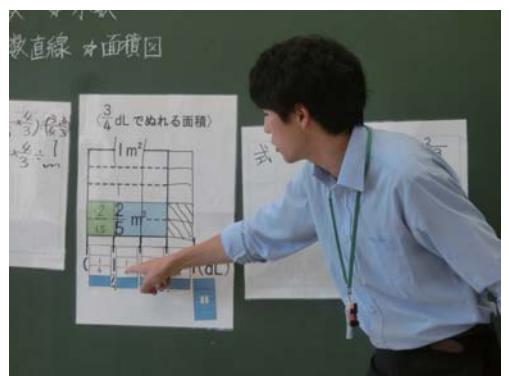
小学校教諭

共感、共汗、共歓できる教師を目指して



阿部 亘平
登米市立米谷小学校
教諭

経歴
宮城県登米市立米谷小学校



●今まで最も充実感を感じた仕事・研修

正直、毎日子どもたちと全力で向き合うことで精一杯です。しかし、そんな子どもたちと過ごす何気ない時間がいつも充実感で満たされているように感じます。その中でも、子どもたちが1日の学校生活を終えて、笑顔で下校していく姿を見られたときは、大きな喜びを感じます。

●教員としての目標

常に子どもたちに寄り添い、一緒に悩み、感動や汗を共有しながら、子どもの成長を支え続けることです。

●教師を志している方へのメッセージ

これからみやぎを背負って立つ子どもたちの未来づくりを共に支えていきましょう。

中学校教諭

学び続けること 共に成長すること



根田 奈美
多賀城市立多賀城中学校
教諭

経歴
亘理町立吉田中学校
多賀城市立東農中学校
多賀城市立多賀城中学校



●今まで最も充実感を感じた仕事・研修

大きな行事が成功した後や卒業生を送り出した後に得られる充実感もあります。しかし、何気ない日々の中でも充実感を得られる場面はあります。生徒が発する言葉や態度に成長を感じた時やねらいに沿った授業ができ、生徒の思考が深まった時などです。たくさんの働きかけや準備をした状態でそのような場面に出会えると、なおさら嬉しくなります。これからも生徒の変化を見逃さず、よい授業づくりに力を入れたいと思います。

●教員としての目標

生徒の成長を促す教師でいたい。心を耕す言葉がけができる、態度も伴った人間になりたい。

●教師を志している方へのメッセージ

「みやぎ」の温かい方々に支えていただきながら、自分自身も成長してきました。共にこの地で働きましょう。

特別支援学校養護教諭

ひらかれた保健室づくりをめざして♥



大槻 綾
宮城県立光明支援学校
養護教諭

経歴
横浜市大総合医療高度救命救急センター
尚絅学院中学・高校
宮城大学看護学部看護学科
宮城県立光明支援学校



●今まで最も充実感を感じた仕事・研修

「特別支援学校の養護教諭って何するの?」と考えながら初任の頃を過ごしました。特に毎年行う健診は、今まで経験したものとは異なり、個々の発達状況に応じながら行うものでした。スムーズに受診できない時は「この子にはどういう支援をしたら良いか?」と考え、まさに養護教諭の力量が試されている様でした。そして「去年より今年はここまで出来た」という子どもの姿に成長を感じることこそ、充実感を得られる瞬間でした。

●教員としての目標

子どもたちや保護者、一人一人の思いに耳を傾けられ、寄り添うことのできる教員でありたいです。

●教師を志している方へのメッセージ

子どもたち、そしてその保護者に、より良い教育を提供できる教員を共にめざし、みやぎを盛り上げましょう!

高等学校教諭

知識だけじゃない!伝えるのは自分の後ろ姿



廣木 裕
宮城県氣仙沼向洋高等学校
教諭

経歴
宮城県農林水産部 新宮城丸
宮城県教育委員会 宮城丸
宮城県氣仙沼向洋高等学校



●今まで最も充実感を感じた仕事・研修

震災の年に入学したクラスを3年間受け持つことができたことです。震災による津波で校舎を失い、近隣の学校や仮設校舎での3年間は十分とは言えない学習環境でしたが、今でもそれぞれの進路で頑張ってくれていることです。この期間を通して、学校とは、たとえ校舎や設備が無くなったとしても、生徒と教員がいて、共に校風や伝統を築いて初めて「学校」になるのだと改めて気づくことができました。

●教員としての目標

生徒たちに海・船・魚の魅力を伝え、これからの水産・海洋関連産業を担う人材を育成していくこと。

●教師を志している方へのメッセージ

知識だけではなく、みなさん自身が歩んできたこれまでの経験が、みやぎの明日を担う生徒の学びになります。